

## 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向け取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	13	職員教育のシステムが確立していません。特に非常勤職員の新人研修からステップアップ研修まで、部分的には行なっていますが、計画的に行なっていないのが現状です。	計画的な教育を実践することで、なぜそのケアを行うのかの本質を理解し、職員間で、ばらつきのない高いレベルのケアを実践していきます。また、職員の精神面もフォローし、負担なく仕事を前向きに捉えられるようにして、心にゆとりを持ち、入居者の方に最善のケアを提供できる職員を育てます。	入職時に、ケアの基本から生協職員としての心得までを学ぶ機会を確保し、実際に業務に付いたあとも1ヵ月後・3ヵ月後に管理者と面談を行い、能力・技術の向上から精神面のフォローまでを計画的に行なっていきます。	6ヶ月
2	7	虐待や成年後見制度等、利用者の人権を守る意識を高める研修会や、その他、感染症・救命救急講習会などに、一部の職員だけが参加していることが多く、全職員が参加できていないのが現状です。また研修に参加したのものによる伝達講習の機会もきっちりともつことが出来ていません。	各職員が、積極的に学ぶ意欲を持ち、各講習会に参加をしていきます。基本的には、全職員が順々に参加出来る機会をもちたいですが、不可能であれば、伝達講習のやり方を工夫し、同じ情報を皆が共有できる体制を作ります。	年度初めに毎年行なわれる研修会を一覧にし、計画的に参加出来る体制を作ります。またイレギュラーに入る研修にも積極的に参加してもらえ余裕を持ったシフト体制を確保し、研修参加後には報告書をあげ、グループに分かれて伝達講習を行なう仕組みを作ります。	6ヶ月
3	4	運営推進会議が3～4ヶ月に一回の開催にとどまっています。	2ヶ月に一回の開催を目標に、開催の仕方を工夫します。町会との関係を崩さないよう配慮をしながら、開催日を検討していきます。	町会長様とも相談し、開催の仕方の工夫やメンバー構成の工夫などを行なっていきます。	6ヶ月
4	29	地域との交流に関して、ボランティア参加の面では様々な取り組みが実践できていますが、緊急時における近隣住民の協力の方法などが確立できていません。	地域住民に対して、もっと地域に密着したグループホームの本質の理解を進め、医療生協の理念のように地域協同の体制作りに努めます。	毎年2回実施している消防訓練などを地域住民を交えて行なえる仕組みを作ります。	6ヶ月
5	29	近隣幼稚園児との交流や中学校の職場体験の受入れが実施できていない。	定期的に、近隣幼稚園の園児と交流する機会を作り、入居者の楽しみ・生きがいにつなげます。小中学校からも年に一回程度、職場体験を受入れ、お孫さんのような年代の方との交流を良い刺激にします。	町会長様を通じて、近隣幼稚園園長様と相談する機会を作ります。幼稚園の行事を見学に行かせてもらったり、びろうじゅの行事に参加してもらえ関係作りを行ないます。小中学校の職場体験は、教頭先生と懇談し、受入れ施設に登録をします。	6ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。